

2026年度 第5回（10月）北辰テスト対策 予想問題 解答・解説

社会

1 問1（4点）

北アメリカ大陸

解説: 地図中Xは、大西洋をはさんでユーラシア大陸の西、赤道より北に位置する大陸。六大陸は、ユーラシア・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・オーストラリア・南極。Xにはアメリカ合衆国・カナダ・メキシコなどがある。

採点ポイント: 「北アメリカ」まで正確に。「アメリカ大陸」のみは南北の区別がなく不十分。

1 問2（4点）

ウ

解説: カイロ（エジプト）は乾燥帯（砂漠気候）。年降水量はおよそ25mmとほぼ雨が降らず、気温は1月でも14℃前後、夏は28℃前後と一年を通して高め。「降水の棒グラフがほとんど見えない」ことが決め手。

ア → パリ（西岸海洋性気候。気温の変化が小さく、降水が毎月50mm前後で平均的）

イ → ペキン（冬に寒冷 [1月-3℃前後] で乾燥し、夏に降水が集中する温帯 [冬乾燥] の気候）

エ → ウェリントン（南半球のため気温グラフが谷型 [1月が夏・7月が冬]。西岸海洋性気候）

採点ポイント: 乾燥帯＝降水量ほぼゼロ、を最優先で見つける。エの「気温グラフが谷型＝南半球」も重要な識別スキル。

1 問3（3点）

ア

解説: ニュージーランドは環太平洋造山帯に属する島国で、先住民マオリの文化（ハカなど）を尊重する政策がとられている。牧畜がさかんで、羊の飼育頭数は人口より多く、酪農品（バター・チーズ）や羊肉・羊毛を輸出する。

イ → サウジアラビアなど西アジアの産油国の説明

ウ → オーストラリアの説明（アボリジニ・鉄鉱石・石炭）

エ → アルゼンチンの説明（パンパ・小麦・肉牛）

採点ポイント: マオリ（ニュージーランド）とアボリジニ（オーストラリア）の区別が最大のポイント。

1 問4（3点）

ユーロ

解説: EU（ヨーロッパ連合）の多くの加盟国で導入されている共通通貨。両替の手間がなくなり、国境をこえた買い物や旅行が容易になった。ただし、デンマークなど導入していない加盟国もある。フランスはEU最大の農業国で、ユーロ導入国。

採点ポイント: カタカナ3字指定。「ユーロー」は不可。通貨名と「EU」という組織名の混同に注意。

1 問5 (5点)

1980年は原油やせんい品・衣類の輸出が中心だったが、2020年には機械類などの工業製品が中心となり、輸出総額も大幅に増えた。

短縮版：「せんい品など軽工業品中心から、機械類などの工業製品中心の輸出へと変化した。」

解説:

グラフ2の要点：1980年は原油20%・せんい品と衣類29%で、軽工業品と資源が中心。2020年は機械類が44%で最大となり、輸出総額はおよそ180億ドル→2兆6000億ドルへと桁違いに増えた。

背景：1980年前後から経済特区を設けて外国企業を受け入れ、工業化を進めた結果、中国は「世界の工場」と呼ばれるようになった。

語句指定「工業製品」を必ず含める。採点上の「工業製品」は機械類を中心とする指し方で使う（せんい品も広義には工業製品だが、「機械類などの工業製品が中心になった」という変化の方向が書けていれば正答。せんい品を工業製品と呼んでいても変化の方向が正しければ減点しない）。

採点ポイント (5点満点)：

2点：1980年はせんい品（軽工業品）や原油が中心だったことに言及

2点：2020年は機械類など工業製品が中心になったことに言及

1点：語句「工業製品」を含む

1 問6 (3点)

イ

解説: 表1の4か国は以下の通り：

I (人口142500万・面積9600千km²・機械類/衣類) = 中国

II (面積552千km²・GNI45500ドル・航空機) = フランス

III (GNI4100ドル・石油製品/野菜と果実) = エジプト

IV (面積2780千km²・植物性油かす/とうもろこし) = アルゼンチン

各選択肢の正誤：

ア → 誤 (Iの中国は人口最多だが、一人当たりGNI最高はIIフランスの45500ドル)

イ → 正 (IIフランスは面積552千km²で4か国中最小、一人当たりGNI45500ドルで最高)

ウ → 誤 (IIIエジプトの人口11000万は最少ではない。最少はIVアルゼンチンの4600万。後半の「農産物が含まれる」は正しいが前半が誤り)

エ → 誤 (IVアルゼンチンの面積2780千km²は最大ではない。最大はIの中国9600千km²)

採点ポイント: 各主張の前半・後半を両方検証する消去法。

2 問1 (3点)

中京工業地帯

解説: 愛知県から三重県北部に広がる、製造品出荷額全国1位の工業地帯。豊田市の自動車工業を中心に、機械工業の割合が特に高い。瀬戸市の陶磁器（ファインセラミックス）、四日市市（三重県）の石油化学コンビナートも含む。

採点ポイント: 「中京」を正確に。「東海工業地域」（静岡県）との混同が最大の誤答パターン。

2 問2 (3点)

ア

解説: 広島県には世界文化遺産が2件ある (原爆ドームと厳島神社、ともに1996年登録)。広島湾ではかきの養殖がさかんで、生産量は全国1位。広島市は中国・四国地方の地方中枢都市で政令指定都市。

イ → 鳥取県 (鳥取砂丘・なし・らっきょう)

ウ → 鹿児島県・宮崎県 (シラス台地の畜産)

エ → 香川県 (讃岐平野のため池)

採点ポイント: 中国・四国地方の県別特徴の判別。

2 問3 (3点)

エ

解説: 3都市の気候の型で判別する:

I (1月の降水量259mmと冬に降水が多い) → 富山市 (日本海側の気候。冬の北西季節風が日本海の水蒸気を運び、雪を降らせる)

II (1月の平均気温6.7℃と温暖で、7月の降水量328mmと夏に降水が非常に多い) → 高知市 (太平洋側の気候。黒潮の影響で冬も温暖、梅雨・台風で夏の降水が多い)

III (1月の気温2.0℃と冷涼で、年間を通じて降水が少なめ) → 仙台市 (太平洋側だが緯度が高く冬は冷涼。降水量は3都市中最少)

採点ポイント: 「冬に降水多＝日本海側」「冬も温暖＋夏多雨＝南四国」の2つの型で確定し、残りを仙台とする。

2 問4 (5点)

P＝やませ／やませが長く吹くと、夏でも気温が上がらず日照不足となり、稲が十分に育たないから。

解説:

やませは、夏に寒流の親潮 (千島海流) の上を通って、東北地方の太平洋側に吹く冷たく湿った北東の風。霧や雲を発生させ、日照をさえぎる。

やませが長く続くと、夏でも気温が上がらず、稲の生育に必要な熱と日光が不足して収穫量が減る冷害が起こる。仙台平野・北上盆地など東北太平洋側の稲作地帯で被害が大きい。

採点ポイント (5点満点):

2点: Pに「やませ」(ひらがな・カタカナいずれも可)

2点: 夏でも気温が低くなる (上がらない) ことに言及 (語句「気温」を含む)

1点: 稲 (米) が育ちにくくなる、という因果の締め

2 問5 (2点)

イ

解説:

- I 正：市役所 (◎) はS駅の真西にあり、寺院 (卍) はS駅から見て右上＝北東の方向にある。両方正しい。
II 誤：2万5千分の1地形図で2cmの実際の距離は $2\text{cm} \times 25000 = 50000\text{cm} = 500\text{m}$ 。「約1000m」は誤り (1000mになるのは5万分の1地形図の場合)。

採点ポイント: 縮尺計算 (実際の距離＝地図上の長さ×縮尺の分母) と8方位の判定。

3 問1 (4点)

壬申の乱

解説: 672年、天智天皇 (中大兄皇子) の死後、あつぎをめぐって、天皇の弟の大海人皇子と天皇の子の大友皇子が争った内乱。勝利した大海人皇子は即位して天武天皇となり、天皇を中心とする国家づくり (八色の姓、律令・歴史書の編さん開始) を進めた。

採点ポイント: 漢字指定。「壬申」の2字を正確に。「応仁の乱」(1467年・室町時代) との混同は致命的な誤り。

3 問2 (3点)

イ

解説: 墾田永年私財法 (743年) は、人口増加による口分田の不足を補うため、新しく開墾した土地 (墾田) を、いつまでも私有地としてよいことを認めた法令。これにより公地・公民の原則がくずれ始め、貴族や寺社が農民を使って開墾を進めた私有地は、のちに荘園と呼ばれるようになった。

- ア → 班田収授法 (律令制の基本。6歳以上に口分田を支給)
ウ → 太閤検地 (豊臣秀吉・1582年～)
エ → 桓武天皇の政治 (平安京遷都・794年)

採点ポイント: 「開墾した土地の永久私有」＝墾田永年私財法、とその帰結 (荘園の始まり) をセットで理解。

3 問3 (3点)

イ

解説: 平清盛は保元の乱・平治の乱に勝利して勢力を強め、1167年に武士として初めて太政大臣となった。娘の徳子を高倉天皇のきさきとし (藤原氏の摂関政治と同じ手法)、兵庫の港 (大輪田泊、現在の神戸港付近) を整備して日宋貿易を進め、宋銭を輸入して大きな利益を得た。

- ア → 源頼朝 (1185年、守護・地頭の設置)
ウ → 平清盛は白河上皇の院政期より後の人物。院政を主導したのは白河上皇自身
エ → 足利義満 (勘合貿易・金閣)

採点ポイント: 清盛の3点セット「武士初の太政大臣・娘を天皇のきさきに・日宋貿易」。

3 問4 (3点)

ア

解説: 御成敗式目(貞永式目)は1232年、執権北条泰時が定めた、初めての武家法。御家人に対して、頼朝以来の先例と武士の社会の慣習(道理)にもとづいて、裁判の基準を示した。土地をめぐる争いの判断基準として、その後長く武家法の手本となった。

北条時宗 → 元寇(1274・1281年)のときの執権
「キリスト教の禁止」 → 江戸幕府の禁教令(1612年～)

採点ポイント: 泰時(御成敗式目)と時宗(元寇)という北条氏の代表2人の区別。

3 問5 (3点)

イ

解説: 室町時代は1338年(足利尊氏の征夷大將軍就任)～1573年(15代義昭の追放)。

X コロンブスの西インド諸島到達(1492年) → 室町時代に含まれる(正)

Y ムハンマドがイスラム教をおこす(7世紀初め・610年ごろ) → 日本では飛鳥時代。室町時代ではない(誤)

Z 李成桂が高麗をほろぼし朝鮮国を建国(1392年。同年、日本では南北朝の統一) → 室町時代に含まれる(正)

採点ポイント: コロンブス1492年・朝鮮国建国1392年(南北朝統一と同年、と覚える)・イスラム教7世紀の3つの年代照合。

3 問6 (3点)

イ

解説: 日明貿易(1404年～)では、明から与えられた勘合という合い札を正式な貿易船に持たせ、大陸沿岸を荒らしていた海賊集団倭寇と区別した。日本は刀・銅・硫黄などを輸出し、明銭(永楽通宝)・生糸などを輸入した。

ア → 関税自主権の話は近代の不平等条約(日米修好通商条約)に関する内容

ウ → 江戸幕府の禁教・鎖国政策

エ → 幕末の金銀交換比率問題(開国後の金の流出)

採点ポイント: 勘合の目的＝「倭寇との区別」を一言で言えるか。

4 問1 (4点)

地租改正

解説: 1873年、明治政府は財政を安定させるため地租改正を実施した。土地の所有者と地価を定めて地券を発行し、地価の3%を現金で納めさせた。これにより政府の税収は米の豊凶に左右されず安定したが、農民の負担は江戸時代とほとんど変わらず、各地で地租改正反対一揆が起こり、1877年に税率は2.5%に引き下げられた。

採点ポイント: 漢字4字指定。「租」の字(禾へん)を正確に。「地租」だけでは改革名として不十分。

4 問2 (3点)

ア

解説: 三国干渉 (1895年) は、日清戦争の講和条約である下関条約で日本が獲得した遼東半島について、ロシアがドイツ・フランスとともに清への返還を勧告したできごと。日本は対抗する力がなく返還に応じ、国内ではロシアへの対抗心が高まった (「臥薪嘗胆」)。その後、日本は軍備を増強し、1902年の日英同盟を経て1904年の日露戦争に向かう。

イ → 太平洋戦争直前のABCD包囲網 (1941年ごろ) に関する内容

ウ・エ → 史実にない組み合わせ

採点ポイント: 「ロシア+ドイツ+フランス」「遼東半島の返還」の2点で確定。

4 問3 (3点)

ア

解説:

X=吉野作造: 大正時代、政治の目的を民衆の幸福に置き、政策決定に民衆の考えを反映すべきだと主張する民本主義を唱え、大正デモクラシーの理論的支柱となった。

Y=平塚らいてう: 1911年に雑誌『青鞥』を発刊 (「元始、女性は実に太陽であった」)。1920年には市川房枝らと新婦人協会を設立し、女性の政治参加を求める運動を進めた。

美濃部達吉は天皇機関説を唱えた憲法学者、樋口一葉は明治時代の小説家 (『たけくらべ』)。

採点ポイント: 「民本主義=吉野作造」「青鞥・新婦人協会=平塚らいてう」の対応。

4 問4 (3点)

ア

解説: 1929年にアメリカで始まった世界恐慌への各国の対応:

アメリカ: ローズベルト大統領がニューディール (新規まき直し) 政策。公共事業 (テネシー川流域開発など) で失業者に仕事を与え、労働組合を保護した。

イギリス・フランス: 本国と植民地の結びつきを強め、他国の商品に高関税をかけてしめ出すブロック経済。

植民地の少ないドイツ・イタリアではファシズムが台頭し、日本は満州事変 (1931年) へと向かった。ソ連は五か年計画により恐慌の影響をほとんど受けなかった。

ペレストロイカは1980年代のソ連 (ゴルバチョフ) の改革、殖産興業は明治政府の政策。

採点ポイント: 「アメリカ=ニューディール」「英仏=ブロック経済」の対応と、各国の対応の違いが戦争への道につながる流れ。

4 問5 (5点)

高度経済成長によって国民の所得が増えたため、「三種の神器」と呼ばれた白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫が急速に普及し、1970年ごろにはいずれも9割前後の家庭に行きわたった。

短縮版：「高度経済成長で国民の生活が豊かになり、3つの電化製品の普及率が急速に上がった。」

解説:

グラフ6の要点：1957年には普及率が3～20%程度だった3製品が、1970年にはいずれもおおよそ9割に達している。

背景：1955年ごろから1973年（石油危機）まで、日本経済は年平均10%程度の成長を続けた（高度経済成長）。1968年には国民総生産（GNP）が資本主義国で第2位となった。所得の増加とともに白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫は「三種の神器」と呼ばれてあこがれの的となり、1960年代後半からはカラーテレビ・クーラー・自動車（3C）が普及した。

語句指定「高度経済成長」を必ず含める。

採点ポイント（5点満点）：

2点：普及率が急速に上昇した（ほぼすべての家庭に行きわたった）ことに言及

2点：背景として経済の成長・所得（生活水準）の向上に言及

1点：語句「高度経済成長」を含む

採点上の注意：「三種の神器」の語は加点要素だが必須ではない。

4 問6 (3点)

ア

解説: 戦後日本の歩みを年代順に：

1. a 日ソ共同宣言・国連加盟：1956年 ソ連と国交を回復した結果、ソ連の反対がなくなり、同年12月に国際連合への加盟が実現（国際社会への復帰）
2. c 東京オリンピック・パラリンピック：1964年 アジア初。直前に東海道新幹線が開通
3. b 沖縄の日本復帰：1972年 佐藤栄作内閣。ただしアメリカ軍基地は残された
4. d 日中平和友好条約：1978年 1972年の日中共同声明（国交正常化）を条約として発展させた

「国連加盟（1956）→東京五輪（1964）→沖縄復帰（1972）→日中平和友好条約（1978）」は、国際復帰→高度経済成長の象徴→戦後処理の総仕上げ→アジア外交の深化、という流れで覚える。日中共同声明（1972年・国交正常化）と日中平和友好条約（1978年）の区別が最大のポイント。

採点ポイント: 戦後外交の4大事件の年代順。特に「共同声明1972／平和友好条約1978」の6年差。

5 問1 (3点)

ア

解説: グローバル化とは、交通（航空網・コンテナ輸送）や情報通信技術（インターネット）の発達により、人・もの・お金・情報が国境をこえて大量に移動し、世界の一体化が進むこと。

イ → 誤。グローバル化が進むと、各国が得意な分野の生産を分担し合う**国際分業**はむしろ拡大する

ウ → 誤。安い外国産の食料の輸入が増えた結果、日本の**食料自給率**は低下した（カロリーベースでおよそ4割弱）

エ → 誤。感染症の世界的流行（パンデミック）や地球温暖化のように、一国だけでは解決できない問題はグローバル化によってむしろ増えており、**国際協力**の必要性が高まっている

採点ポイント: グローバル化の定義と、その影響（国際分業の進展・自給率低下・国際協力の必要）の因果を正しく結ぶ。

5 問2 (3点)

ア

解説: グラフ7の読み取り:

ア 正: 合計特殊出生率（1人の女性が生む子どもの平均数）は3.65（1950年）→1.33（2020年）へ低下し続け、65歳以上人口の割合は4.9%→28.6%へ上がり続けている。**少子化と高齢化が同時に進行**していることがグラフ全体から読み取れる

イ 誤: 2020年の出生率1.33は1950年の3.65より大幅に低い

ウ 誤: 65歳以上の割合は一貫して上昇している

エ 誤: 2020年の65歳以上の割合はおよそ29%で、「およそ半分（50%）」には達していない（「およそ3割」が正しい）

採点ポイント: 2軸グラフ（左軸＝出生率、右軸＝割合）の読み分け。人口減少・高齢社会の進行を数値で確認する。

5 問3 (3点)

年中行事

解説: **年中行事**は、初詣・節分・ひな祭り・七夕・お盆・七五三など、毎年同じ時期にくり返し行われる行事。長い歴史の中で受けつがれてきた**伝統文化**の一つで、季節の変化と結びついている。伝統文化には、能・歌舞伎のような専門家によって受けつがれてきた文化と、年中行事のように一般の人々の生活の中で受けつがれてきた**生活文化**がある。

採点ポイント: 漢字4字指定。「年中行事」の4字を正確に。「伝統文化」（問題文中に既出）は不可。

5 問4 (3点)

イ

解説: 対立を合意に導くときの2つの考え方:

公正: 手続きの公正さ (みんなが対等に話し合いに参加できるか) と、機会や結果の公正さ (一部の人が不当に不利になっていないか)。X「すべての学級の代表が参加し、対等に意見を述べられる」は**手続きの公正さ**。

効率: 時間・お金・もの・労力を無駄なく使えているか。Y「体育館があいている時間ができるだけ生じないようにする」は**効率** (資源の無駄をなくす)。

ウ・エの「権利・義務」は、きまり (契約) を守る責任の文脈で使う語で、本問の2文の説明にはあてはまらない。

採点ポイント: 「対等な参加＝公正」「無駄をなくす＝効率」の対応を、具体例の中で判定できるか。

6 問1 (3点)

ア

解説: 奥州藤原氏は、前九年合戦・後三年合戦ののち、11世紀末から平泉 (岩手県) を拠点に、金や馬の交易で栄えた一族 (清衡・基衡・秀衡の3代)。初代藤原清衡は、戦乱の犠牲者を慰めるため、極楽浄土の教え (浄土信仰) にもとづいて中尊寺金色堂を建てた。平泉の文化遺産は2011年に世界文化遺産に登録された。1189年、源頼朝に滅ぼされた。

イ 蘇我氏 → 飛鳥時代の豪族 (大化の改新で倒された)

ウ 北条氏 → 鎌倉幕府の執権

エ 尚氏 → 琉球王国の王家 (表8中の沖縄県と対応)

採点ポイント: 平泉・中尊寺金色堂＝奥州藤原氏の対応。浄土信仰 (平等院鳳凰堂と同じ流れ) との結びつき。

6 問2 (3点)

オ

解説: 表9の3県を指標から判別:

I (人口147万人で3県中最多、65歳以上の割合23%で最低) → 沖縄県 (出生率が全国で最も高く、高齢化率は全国で最も低い県。第三次産業＝観光業の割合が高い)

II (65歳以上34%で最高、第一次産業10%で最高) → 岩手県 (農林水産業の割合が高く、高齢化・人口減少が進む)

III (第一次産業3%で最低) → 石川県 (金沢市を中心に商業・サービス業が集積し、繊維・機械などの工業も発達)

判別の決め手は「高齢化率最低＝沖縄」「第一次産業最高＝岩手」の2点。

採点ポイント: 沖縄県の人口構成の特殊性 (若い県) という定番知識を統計から確認する。

6 問3 (4点)

琉球王国

解説: 琉球王国は、1429年に尚氏（尚巴志）が沖縄島の北山・中山・南山の3勢力を統一して建てた王国。都は首里（首里城）。明に朝貢しながら、日本・朝鮮・東南アジアの産物をやりとりする中継貿易で栄えた。江戸時代には薩摩藩に征服されつつ（1609年）明・清への朝貢も続け、明治時代の琉球処分（1879年）で沖縄県となった。

採点ポイント: 漢字4字指定。「琉球」の2字を正確に。「琉球藩」「沖縄県」は不可。